

チケット情報
 2022年10月22日(土)朝10時より
 チケットぴあ[Pコード:552-550]
 にて販売!(上映開始時間まで販売)
 ※会場でのチケット販売はありません。
 ご注意ください。

【日時指定/整理番号付き自由席券】
 ●一般/1,300円
 ●学生・障がい者・友の会/800円
 ※学生・障がい者・友の会の方は、
 入場時に証明できるものをご提示ください。

【チケットぴあ 購入方法】
 ▶インターネット購入
 ※チケットは会場では発売できません。
 必ず、セブン-イレブンかファミリーマート
 で発売の上、ご来場ください。
 ▶セブン-イレブンで直接購入

チケットぴあ

■お問合せ
 【～11月18日迄】
 一般社団法人PFF
 03-5774-5296(平日11時～18時)
 【11月19日～27日迄】
 直通ダイヤル
 070-4544-7569(10時～21時)

11.19 (土)	12:00- 『ポラン』★ Aプログラム 『the Memory Lane』★	15:30- 『デカメロン』(112分) 35mm	18:00- 『カンタベリー物語』(111分) 35mm
20 (日)	11:00- 『水槽』 Bプログラム 『暮れる』★	14:15- 『アラビアンナイト』(131分) 35mm	17:30- 『アクト』★ Cプログラム 『幽霊がいる家』★
21 (月)	休館日		
22 (火)	13:00- 『大きな鳥と小さな鳥』(86分) 35mm	15:15- 『アポロンの地獄』(104分) 35mm	18:00- 『豚小屋』(99分) 35mm
23 (水)	11:00- 『奇跡の丘』(137分) 35mm	14:30- 『私立探偵濱マイク 名前のない森』★	17:30- 『路地へ 中上健次の残した フィルム』+『赤ずきん』★ 35mm
24 (木)	13:00- 『愛の集会』(93分) 35mm	15:30- 『マンマ・ローマ』(106分) 35mm	18:00- 『石川君、行け!!』★ Dプログラム 『バンド』
25 (金)	12:00- 『ロゴバグ』(122分) 35mm	15:00- 『わたしたちの家』	18:00- 『ザ・ビッグ・ビート: ファッツ・ドミノとロックンロールの誕生』★
26 (土)	11:00- 『スケアーフレンド』★ Eプログラム 『Lock Up and Down』	14:30- 『アッカー・オーネ』(117分) 35mm	17:30- 『瀉血』★ Fプログラム 『MAHOROBA』★
27 (日)	11:00- 『ふちしすこ』★ Gプログラム 『最も無害で、あまりにも攻撃的』	14:30- 『JOO5311』★ Hプログラム 『彼は誰時(かたれどき)』★	17:30- 『すべての夜を思い出す』

京都文化博物館 3階フィルムシアター

アクセス▶京都市中京区三条高倉
 地下鉄「烏丸御池駅」から徒歩3分/阪急「烏丸駅」から徒歩7分
 京阪「三条駅」から徒歩15分/市バス「堺町御池」から徒歩2分

※開場時間は上映時間の15分前 ★ゲスト来場予定

■マスク着用のない方のフィルムシアターへの入場をお断りします。
 ■来館者全員に検温を行います。■37.5度以上の方は入館をお断りします。

《右記に該当する方はご来館をお控えください》◎新型コロナウイルス感染症について、陽性判定、あるいは医師に自宅待機指示を受けている方 ◎ご自身の身近に感染の疑いがある方 ◎検査結果待ち、あるいは体調不良の諸症状がある方 ◎過去14日以内に、陽性の方と濃厚接触がある方、感染が拡大している国・地域への訪問歴がある方

プレイベントを開催します!同時期にブックフェアも展開。ぜひご来場ください!
 ★11/12(土) 【青山真治監督特集】×【バズリーニ特集】を大いに語る!!
 場所:丸善・京都店 ゲスト:樋口泰人(boid代表)×北小路隆志(映画批評家)

「ようこそ、はじめてのバズリーニ体験へ」は、PFFとイタリア文化会館・大阪が共同で企画しています。

ISTITUTO italiano DI CULTURA OSAKA

【主催】 PFF 一般社団法人PFF **【共催】** THE MUSEUM OF KYOTO 京都文化博物館

【オフィシャルパートナー】 ぴあ ホリプロ dentsu tokyo/osaka/nagoya Hakuholdo DY media partners

【オフィシャルTOPサポーター】 三菱地所 U-NEXT

【オフィシャルサポーター】 スカパー! セブン&アイHLDCS

【特別協賛】 朝日新聞 イ×ワ Imaging Works IIJ Internet Initiative Japan Tokyofm FM802 KLOCK WORK KDDI JCB STAR BSTD SEGA Sammy 文化芸術財団 中日テレビ 東京テアトル TOKYO MX DOKUSO TOPPAN NIKKATSU IMOLA! SMBC 三井住友カード MUFG 三菱UFJニコス

【協賛】 R-factor さらば銀行 CONCENT 佐藤工業 シネマトゥデイ SPACE SHOWER DISK GARAGE tv asahi TV TOKYO 東京現像所 KOGEI TOHAN Toboggan POOL inc. フジテレビジョン PONYCANYON INC. MOVIE WALKER PRESS

【賛助】 アテネ・フランセ文化事業(株)/(株)伊藤園/エイベックス・ピクチャーズ(株)/KANDO(株)/ギャガ(株)/キングレコード(株)/クエストルーム(株)/(有)スタンス・カンパニー/チケットぴあ九州(株)/チケットぴあ名古屋(株)/(株)夏への扉/(株)PIVOT/フィルムミネーション(株)/(有)プレス/(有)ヴォルテージ/(株)マジックアワー/(株)みずほ銀行/(株)MOON LIGHT/(株)ロケット

第44回 ぴあフィルムフェスティバル in KYOTO

PIA FILM FESTIVAL 2022



5つの企画、合計33作品上映、16人がゲスト来場の8日間!

2022.11.19(土) → 27(日)

京都文化博物館 3階フィルムシアター ※11月21日(月)休館

主催:一般社団法人PFF/共催:京都文化博物館/運営協力:Brand new day

PFF アワード2022

1977年から続く、映画監督への登竜門と呼ばれる自主映画のコンペティション。今年は、16作品が入選し、京都へは13名の監督たちが来場！上映後にトークを行います！

※ゲストは予告なく変更となる場合がございます。※年齢・職業等は応募時のものです。

A Program 11.19(土) 12:00-

『ポラン』 監督 来場

誰かの大切な居場所。ある古本屋の話



74分/監督:中村洸太 (23歳/立教大学社会学部)

審査員特別賞 監督 来場

『the Memory Lane』

映像も街も廃校舎も。世界は大きな遊び場だ



25分/監督:宇治田 峻 (27歳/フリーター)

B Program 11.20(日) 11:00-

エンタテインメント賞(ホリプロ賞) 監督 来場

『水槽』

雪景に染めく ガール・ミーツ・ボーイ



51分/監督:中里有希 (20歳/東北芸術工科大学 デザイン工学部映像学科)

『暮れる』

ただ「在る」ことの豊かさを映す珠玉の52分



52分/監督:竹田優哉 (25歳/神戸大学大学院国際文化科学研究科)

C Program 11.20(日) 17:30-

『アクト』 監督 来場

私はどう生きる？ 切実なセルフ・ドキュメンタリー



78分/監督:田中 夢 (38歳/俳優・立教大学 映像身体学科卒)

審査員特別賞 監督 来場

『幽霊がいる家』

「幽霊」と「映画」の驚くべき邂逅



12分/監督:南 香好 (31歳/フリーター)

D Program 11.24(木) 18:00-

『石川君、行け!!』 監督 来場

変なテンポが癖になる！ 真正正銘のエンタメ作品



80分/監督:高階 匠 (32歳/映像制作会社勤務)

『バンド』

想像した未来を捨てて向かう、青春の終わり



28分/監督:河村 陸 (24歳/フリーランス)

E Program 11.26(土) 11:00-

準グランプリ 観客賞 監督 来場

『スケアリーフレンド』

「つくる」ことのエネルギーに満ち溢れた力作



76分/監督:峰尾宝・高橋直広 (23歳/会社員・23歳/無職)

『Lock Up and Down』

回復へ向かう眼差しのアンビエント映画



34分/監督:Minami (27歳/東京大学大学院 総合文化研究科)

F Program 11.26(土) 17:30-

映画ファン賞(ぴあニスト賞) 監督 来場

『瀉血』

少年を苦しめるのは 家族の“血”か。衝撃の復讐劇！



86分/監督:金子優太 (20歳/青山学院大学 理工学部物理学科)

審査員特別賞 監督 来場

『MAHOROBA』

苦しい時代、想像力と創造力で辿り着く理想郷



14分/監督:鈴木竜也 (27歳/飲食店勤務)

G Program 11.27(日) 11:00-

『ふちしすこ』 監督 来場

東京ひとり暮らし。思い出す家族のこと。



69分/監督:亀井史興 (40歳/フリーター)

『最も無害で、あまりにも攻撃的』

瑞々しく映したマイノリティの抵抗の物語



40分/監督:中田江玲 (23歳/慶應義塾 大学環境情報学部)

H Program 11.27(日) 14:30-

グランプリ 監督 来場

『JO05311』

正反対の男二人の静かな衝突が生む奇跡！



93分/監督:河野宏紀 (26歳/フリーター)

『彼は誰時(かわたれどき)』 監督 来場

母のカメラと娘の編集が、亡き父との関係を捉え直す



15分/監督:谷本桃子 (21歳/名古屋学芸大学 メディア造形学部映像メディア学科)

清原 惟 監督最新作プレミア上映

PFFが企画、製作、公開まで、トータルで映画をプロデュースする「PFFスカラシップ」。清原惟監督による最新作『すべての夜を思いだす』を関西初上映。さらに、PFFアワード2017グランプリに輝いた『わたしたちの家』も特別上映します。

関西初上映! 11.27(日) 17:30-

『すべての夜を思いだす』

世代が違う女性たちの一日の断片が響きあう


多摩ニュータウンですれ違う三人の女性たち。誰かにとって大切な記憶が、誰かの一日と呼応する。街に積み重なる時間の痕跡に触れ、小さな変化が起きていく。そんな、春のやわらかな日差しに包まれた、ある一日の物語。

2022年/116分/監督・脚本:清原 惟
出演:兵藤公美、大場みなみ、見上 愛

11.25(金) 15:00-

『わたしたちの家』

このいえには「わたしたち」がすんでいるー



2017年/80分/監督:清原 惟
出演:河西和香、安野由記子、大沢まりを

ピーター・バラカン氏の解説で楽しむ音楽映画シリーズ 「ブラック&ブラック」

2019年から始まった、大スクリーンで黒人音楽映画を堪能する企画。今年もロックン・ロールのバイオニア、ファッツ・ドミノに注目です！

関西初上映! 11.25(金) 18:00-

『ザ・ビッグ・ビート: ファッツ・ドミノとロックンロールの誕生』

エルヴィスもロックンロールの王様と讃えたファッツ・ドミノ

2016年/アメリカ/カラー/90分/監督:ジョー・ローロ

1956年にエルヴィス・プレスリーの人気で世界的に認識されたロックンロールは、実はその数年前からすでに形になりつつありました。ニュー・オーリンズでその原形を作ったといえるファッツ・ドミノの功績をとらえ、丁寧に作られたこのドキュメンタリーは、関係者の貴重なインタビュー満載で、音楽ファン必見です。(ピーター・バラカン)

ピーター・バラカン / 1951年ロンドン生まれ。ロンドン大学日本語学を卒業後、来日。現在フリーのブロードキャスターとして活動。「バラカン・ビート」(インターFM)、「ウィークエンド・サンシャイン」(NHK-FM)など多数のラジオ番組を担当。著書に「Taking Stock どうしても手放せない21世紀の愛聴盤」(駒草出版)など。

青山真治監督特集

3月21日に逝去した青山真治監督(1964-2022)。8ミリ自主映画制作から助監督、監督へ。同時に、音楽家、小説家、舞台演出家、批評家と多才に活躍した。その膨大な仕事の中から、PFF in 京都では、スクリーン上映の機会の少ない、貴重な、個性溢れる3作品を特集。ゲストのトークと併せ、その才気を堪能してほしい。

11.23(水) 14:30-

仙頭武則さん アフタートーク

『私立探偵濱マイク 名前のない森』

2002年/日本/カラー/71分(映画版ロングバージョン)
監督:青山真治 / 出演:永瀬正敏、鈴木京香、大塚寧々

ある富豪から、自分探しセミナーに行った娘を連れ戻してくれと依頼を受けたマイクは、山梨の山荘へと赴く。そこには「先生」と呼ばれる女性と、互いを番号で呼び合う若者たちがいた。2002年ベルリン映画祭フォーラム部門出品。

11.23(水) 17:30-

田村尚子さん アフタートーク

『路地へ 中上健次の残したフィルム』

2001年/64分/35mm上映(写真左) / 監督:青山真治

『赤ずきん』

2008年/35分/35mm上映(写真右) / 監督:青山真治

『アタラント号』(34年/1. ヴィゴ)のようにセヌ川で舟を撮影してみるのも悪くない、と青山監督がバリ郊外のジュヌヴィリエで撮影した短編&作家・中上健次が描いた故郷の路地の風景を訪ねるドキュメンタリー。異色の二本立て上映を実現。

👑 京都会場にて観客のみなさんに投票いただく「京都観客賞」を決定します!ぜひ投票してください!👑

ようこそ、はじめてのパズリーニ体験へ

- デカメロン 11.19(土) 15:30-
- カンタベリー物語 11.19(土) 18:00-
- アラビアンナイト 11.20(日) 14:15-
- 大きな鳥と小さな鳥 11.22(火) 13:00-
- アポロンの地獄 11.22(火) 15:15-
- 豚小屋 11.22(火) 18:00-
- 奇跡の丘 11.23(水) 11:00-
- 愛の集會 11.24(木) 13:00-
- マンマ・ローマ 11.24(木) 15:30-
- ロコバグ 11.25(金) 12:00-
- アッカトーネ 11.26(土) 14:30-

詩人、小説家、脚本家、脚本家、評論家、俳優、活動家、多くの顔を持ち、映像表現の最先端を、人間の深淵を、激しく、そして純粋に追及し続け、センセーショナルな話題にまみれた。比類なきイタリアの知と行動の人ピエル・パオロ・パズリーニ(1922-1975)。生誕100年を迎えた本年、その軌跡を未体験世代に!

共催:イタリア文化会館・大阪